学校番号	３０２０

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーション Ⅰ	4	1	【教科書】・COMMET English Communication Ⅰ（数研出版） 【副教材】・COMMET English Communication Ⅰ ベーシックノート（数研出版） ・COMMET 基本文法定着ドリル 1（数研出版） ・令和８年度版　全商英語検定試験問題集　３級（実教出版）

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語コミュニケーションⅠの授業は、「聞くこと」「話すこと（やり取り、発表）」「読むこと」「書くこと」という４技能５領域の力をつける授業です。聞いたり読んだりしたことを基にしたうえで、バランスよく取り組めるように、情報を共有したり自分の考えを話したり書いたりする言語活動を行います。学習過程で得た「知識・技能」を「思考・判断・表現」に繋げていき、授業の枠を超えて「主体的に学習に取り組む態度」を育成します。
・英語の語彙や文法については、基礎基本の定着が第一であると意識し、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、自分の知識を使って等身大の自分でどのようにコミュニケーションを図ることができるのかを学習・体験できるような活動を行います。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・ゆっくり、はっきりと発話される基礎的な英文を１文聴き取ったあと、リピートすることができる。 ・ゆっくり、はっきりと話されれば、自分自身や家族、学校などの身の回りのことについて聴き取ることができる。	・簡単な語や表現を使って書かれた短い物語などを理解することができる。 ・日常的な内容のメール文など具体的な事柄について書かれたものを読み、理解することができる。	・天候、時間、物の値段など、日常的に必要な事柄について、決まった表現や形式を用いて尋ねたり、答えたりすることができる。 ・相手の話す内容を理解できない場合に、必要に応じて、聞き返したり意味を確認したりすることができる。	・前もって準備したうえで、決まった表現や形式を用いて自分や他人のことを紹介することができる。 ・簡単な語句や文を用いて、自分のことを紹介できる。 ・日常生活で必要な基本的な情報を他者に伝えることができる。	・趣味や好き嫌いについて、簡単な語や基礎的な表現を用いて、箇条書きで複数の文を書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身につけている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	COMMET 基本文法定着ドリル１ Lesson 1 From the Window of the Sinkansen	聞くこと	a: 基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく英文を聞き取ることができる。 b: 各パートの英文を聞いて概要を把握することができる。 c: 教科書を見ずに本文の音声を聞こうとしている。	-授業での取り組み -課題などの提出
		読むこと	a: 日英の語順の違いを理解できる。 b: 本文の内容を整理して読み取り、問題に解答できる。 c: 内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	-課題などの提出 -定期考査
		話すこと (やりとり)	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: ペア、グループでの対話練習、相手の理解を確認できる。 c: 積極的に話そうとしたり発言したりする態度がみられる。	-授業での取り組み -課題などの提出
		書くこと	a: 過去形を理解できる。 b: 日英の語順の違いを理解し、その知識を役立てて英語を書くことができる。 c: 題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとする。	-課題などの提出 -定期考査
	中間考査			
	Lesson 2 Miniature Art Lesson 3 Onigiri Goes Overseas	聞くこと	a: 基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく英文を聞き取ることができる。 b: 各パートの英文を聞いて概要を把握することができる。 c: 教科書を見ずに本文の音声を聞こうとしている。	-授業での取り組み -課題などの提出
		読むこと	a: 文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解できる。 b: 本文の内容を整理して読み取り、問題に解答できる。 c: 内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	-課題などの提出 -定期考査
		話すこと （発表）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: 本文から整理・理解した内容を活用して活動に取り組むことができる。 c: 題材内容に肉付けしながら、自分の言葉で説明しようとしている。	-授業での取り組み -パフォーマンステスト
		書くこと	a: 進行形、助動詞を理解できる。 b: 日英の語順の違いを理解し、その知識を役立てて英語を書くことができる。 c: 題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとする。	-課題などの提出 -定期考査
	期末考査			

2	Lesson 4 Pictograms 全商英語検定試験問題集　3級	聞くこと	a: リズムやイントネーション、音の変化など、英語の音の特徴に関する知識がある。 b: 英文を聞き取り、内容を理解することができる。 c: 教科書や問題集を見ずに本文の音声を聞こうとしている。	-授業での取り組み -課題などの提出
		読むこと	a: 文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解できる。 b: 本文の内容を整理して読み取り、問題に解答できる。 c: 内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	-課題などの提出 -定期考査
		話すこと (やりとり)	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: ペア、グループでの対話練習、相手の理解を確認できる。 c: 積極的に話そうとしたり発言したりする態度がみられる。	-授業での取り組み -課題などの提出
		書くこと	a: 不定詞を理解できる。 b: 日英の語順の違いを理解し、その知識を役立てて英語を書くことができる。 c: 題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとする。	-課題などの提出 -定期考査
	中間考査			
	Lesson 5 Morita Yuko 全商英語検定試験問題集　3級	聞くこと	a: リズムやイントネーション、音の変化など、英語の音の特徴に関する知識がある。 b: 英文を聞き取り、内容を理解することができる。 c: 教科書を見ずに本文の音声を聞こうとしている。	-授業での取り組み -課題などの提出
		読むこと	a: 文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解できる。 b: 本文の内容を整理して読み取り、問題に解答できる。 c: 内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	-課題などの提出 -定期考査
		話すこと （発表）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: 本文から整理・理解した内容を活用して活動に取り組むことができる。 c: 題材内容に肉付けしながら、自分の言葉で説明しようとしている。	-授業での取り組み -パフォーマンステスト
		書くこと	a: 動名詞を理解できる。 b: 日英の語順の違いを理解し、その知識を役立てて英語を書くことができる。 c: 題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとする。	-課題などの提出 -定期考査
	期末考査			
3	Lesson 6 Convenience Stores Lesson 7 High School Beekeepers	聞くこと	a: リズムやイントネーション、音の変化など、英語の音の特徴に関する知識がある。 b: 英文を聞き取り、内容を理解することができる。 c: 教科書を見ずに本文の音声を聞こうとしている。	-授業での取り組み -課題などの提出
		読むこと	a: 文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解できる。 b: 本文の内容を整理して読み取り、問題に解答できる。 c: 内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	-課題などの提出 -定期考査
		話すこと （発表）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: 本文から整理・理解した内容を活用して活動に取り組むことができる。 c: 題材内容に肉付けしながら、自分の言葉で説明しようとしている。	-授業での取り組み -パフォーマンステスト
		書くこと	a: that 節を理解できる。 b: 日英の語順の違いを理解し、その知識を役立てて英語を書くことができる。 c: 題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとする。	-課題などの提出 -定期考査
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度